

住みよいたけし

住みよいたけし会広報

第8号

2018年8月16日発行

事務所 武石地域自治センター内

TEL:0268-85-3667

<http://www2.marukotv.jp/~s-takeshi>

印刷 中澤印刷株式会社



ふれんず子ども祭り ～Fをさがせ～

6月23日(土)、「ふれんず子ども祭り」が武石児童館で開催されました。

ようこそ … 「ふれんず武石児童館」へ…

Fをさがせ！を掲げてのフェスティバル(F)開始…。一番の目的として、ここ「ふれんず」(F)を知っていただくことができました。見渡せばたくさんの顔(F)…顔。大人も子どもも…お知り合いも初対面も…すでに大きな「ふれんず」**F**を見つけましたね。そしてこのフィールド(F)で、どんなわくわくを体験していただけたでしょう。

そのおすそ分けに奮闘した我が子どもスタッフ達の活躍は素晴らしかった…。なんだかんだ言ってもやり通したその姿は頼もしいフォワード(F)そのものでは…?!そしてそれを見守ってくださっているたくさんの地域のボランティアさん(高校生や大学生も)の存在も忘れてはなりません。子ども達と一緒に大いに弾け楽しんでくださったことでしょう。

〃子育て支援の拠点となって欲しい、との思いを持ち続け9年目となった「ふれんず武石児童館」での子ども祭り…そこで繰り広げられた場面場面は、地域で子ども達を育てるにふさわしい物でした。これからも子ども達の未来(F)に繋いで行けたら素敵ですね。

皆さま…本当にたくさんのファイト！(F)をありがとうございました。

そして…たくさんの**F**をありがとうございました。感謝

ふれんず武石児童館長 清住 洋子

住みよいたけし会子育て・教育文化部会も実行委員、ボランティアスタッフとして参加しました。

住みよい武石をつくる会の活動

東御市しげの里づくりの会視察



▲視察のようす

ふれあい交流部会では、6月2日(土)、東御市の「しげの里づくりの会」を視察しました。

東御市では、平成25年から市の5地区それぞれに地域づくり組織を立ち上げ、しげの里づくりの会は、支えあい部会、産業経済部会など5部会を設けています。

里づくりの会支えあい部会では、閉店した農協店舗を借り受けて県の元気づくり支援金を活用して改修し、「おらちのえんがわ」事業として住民の交流の場と子供のたまり場を設け、月・火・木・土の週4日開いています。運営には、毎回2～3名のボランティアが交代で当たっています。

視察には、住みよい武石をつくる会ふれあい交流部会員など13名が参加しました。武石地域でも課題となっている、住民の交流の場作りをめざす良い勉強の機会となりました。

たけしけんこうハイキング

健康・福祉・体育部会は、6月2日(土) 昨年続き第2回目となる、けんこうハイキングを実施しました。

武石公民館に集合した後、雲溪荘に移動し、保健師による健康チェックの後、約2時間半のウォーキングをし、雲溪荘に戻っての昼食、入浴を楽しみました。

道路環境クリーン作戦

7月1日(日)、自然・生活環境部会では、交通安全協会、上武石自治会等約40名の皆さんとの協働で、2回目となる「道路環境クリーン大作戦」を実施しました。

景観の保全と交通事故防止のため、上武石の武石新橋交差点付近県道脇の立木の枝切り・草刈り

を実施し、約2時間の作業で見違えるようにきれいになりました。

お寺でヨガ教室

7月7日(土)、健康・福祉・体育部会では、「たけし寺ヨガin妙見寺」を開催しました。地域の文化財・財産を知ってもらいながら、初心者でもヨガに気軽に親しんで、もらえたらという企画です。

この日は小学生からお年寄りまで26名の皆さんが参加し、約1時間半、ヨガの呼吸法・ポーズなどを学び、心地よい一時を過ごしました。

ヨガ体験記

Nさん(女性)

ヨガは初めて、体も固くてできそうもないと思っていたのですが、異空間でのヨガ！ということで出かけてみました。

会場は鳴き龍で有名な妙見寺本堂、最初に坂部住職に妙見寺の歴史、ヨガと仏教との繋がりなどの講話をお聞きした後、唐沢の坂口久美子さんの指導でヨガが始まりました。

出来るところまで無理なく楽しく体をゆっくり動かし、気持ちの良い汗をかきました。最後に全員で鳴き龍の下で円座になり両手をたたくと天井の龍が、「お疲れ様」と返事をしてくれました。



▲本堂でのヨガ

認知症講演会

健康・福祉・体育部会では、7月19日(土)夜、武石公民館においてNPO法人やじろべーの中澤純一氏を講師に「認知症講演会～認知症を正しく理解しよう～」を開催し約60名の方が参加しました。

講師は長年福祉に携わった豊富な経験から、時々ユーモアを交えながらわかりやすく講演をいただきました。

武石の人 団体

信州せいしゅん村

「**信州せいしゅん村**」設立のきっかけは、今から20年前に始めた情報交換会です。中国など海外からの農産物輸入の増加、遊休農地の増加など、これからの農業や農村の行く末に危機感を覚えた小林さんは、行政、農協、知人などに声をかけて、月一回の会合を開き、様々な人たちとの意見や情報の交換を行いました。

こうした会合の中から、「生きるために農業は残り、自然も残る。今ある自然、農村を生かして外から人を呼び込む事業しかない」と結論、目指したのは「サービス提供型農村」、「ありのままの農村生活を体験してもらう」というものです。

平成12年に武石内外の仲間13人で「信州せいしゅん村」を立ち上げ、遊休荒廃農地の復活や、収穫したそばの販売やそば打ち体験会などを始めました。

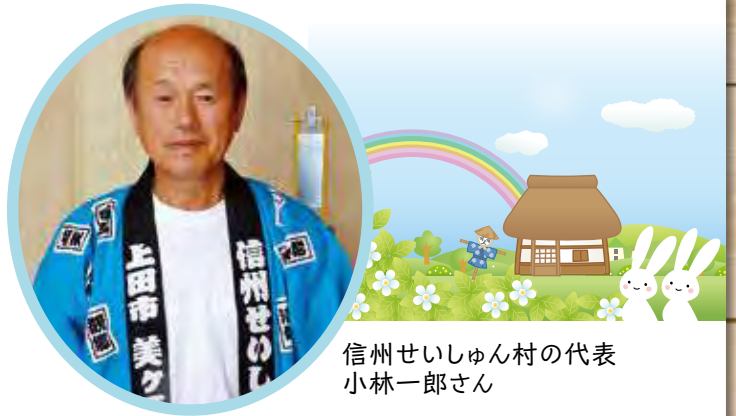
平成14年から、日帰り農村生活体験「ほっとステイ」を開始、自然や農業の大切さを実地で学べる体験学習として教育現場に受け入れられ、都市部の学校から多くの生徒さんが武石を訪れるようになりました。また、大人のグループや、企業研修、外国人向けの「ほっとステイ」など、さらには、じっくりと農村の生活や自然が味わえる宿泊付きの農村生活体験「ホームステイ」など、次々と新しい事業を展開してきました。これらの事業は、今までに都市部の人たちが延べ8万人、昨年だけでも約4千人の人たちが武石地域を訪れました。

活動を始めた当時、ネット検索で「農村体験」と入力しても一件もヒットしなかったのが、今では457万件も出てくるようになり、活動を開始してから20年、活動の方向性に間違いはなかったと過去を振り返ります。

小林さんは、「交流」という事に重きを置いています。「単なる観光ではなく、交流を行うことで、お互いの理解を深めることになる。訪問者には、農業への理解や自然の大切さなどを知ってもらう事ができる。また、受け入れ側も、農作業や農村生活の風土や習慣を伝えることで、人の役に立っているという張り合いや喜びを感じる事ができる」と言っています。

近年では、沖地区で古民家を改装した農家レストラン「里の食」、地域の道の駅として「交流の駅〈たけし〉」の開設など新たな交流事業を開始しました。

今年「信州せいしゅん村」は、今までの取り組みと



信州せいしゅん村の代表
小林一郎さん

実績が評価され、都市・農村交流の優れた事例を表彰する「第15回オーライ!ニッポン大賞」の最高賞のグランプリ内閣総理大臣賞を受賞しました。

次々と新たな事業を繰り出し続ける小林さんに、その秘訣を尋ねると、「これだと思ったら直ぐ実行すること」、「今行っている事の賞味期限が切れないように、常に新しいことを考え、変化してゆく努力をすること」と答えが返ってきました。

しかし、かつては常時80軒あった「ほっとステイ」の受け入れ先が、高齢化などにより現在は半分以下に減少しており、次世代への引き継ぎが課題となっています。特に、現役を終えた60代のシニア層に対しては、「地域に貢献する、地元を元気にするという思いを持った人にぜひ加わってほしい」と期待を込めて話していました。

「まだまだやりたい事はいっぱいある。新しい村の形を提案していきたい」と、小林さんは今後の抱負を話してくれました。例えば、いつでも自由に入って農業体験や交流が出来るような「オープンファーム」を作る、川を利用して誰でもいつでも魚取りができるような水辺を作る、こうした体験や交流、イベントが楽しめる場所を村のあちこちにちりばめ、電動アシスト自転車で農村風景を見ながらのんびり巡ってもらう、等々。これは、村全域をいわば一つのテーマパークとしたような構想です。

「外から人がたくさん来てくれることで、農村や自然が守られ、村人もずっとここに住み続けることができる。いっぱい人に来てもらう為のやり方は、いくらでもあるのではないかと、新しい村作りに小林さんのアイデアは止まりません。

牛石様のお祭り

7月15日(日)、沖の牛石様のお祭りが開催されました。

牛石様は、武石沖信号から旧道を下水処理場の方に少し下ったところにあります。かつては丸子と武石や依田窪を結ぶ街道の坂道でした。

昔、沖地区の原野の開墾を行おうとした神様が乗ってきた牛が、この坂で力尽きて死んでしまい、石になったと伝えられています。神様は、その後沖に田畑を開き人々に分け与え、沖小山の稻荷社に、笹焼(ささやき)明神として祭られています。

牛石様は、武石の入り口にあり、伝染病が入ってこない守り神とされていましたが、道路拡張で移動した後病気が流行ったため、地域の人たちはこれ以後神様として祭り、年1回土用丑の日にお祭りをしてきました。

この日は氏子の皆さん約20名が集

まり、神主さんによって神事が執り行われ、地域の安寧を祈願しました。

牛石様は、武石小学校のふるさとカルタにも読まれています。住みよい武石をつくる会 子育て・教育文化部会では、8月25日(土)にふるさとカルタに詠まれている武石の伝承・文化の地を訪ねる企画「たけしカルタ 歴史さんぽみち」を予定していますが、その際牛石様も訪れることになっています。



イベント&お知らせ

●たけしカルタ 歴史さんぽみち

8月25日(土) 9:00~

ふるさとカルタの地を巡る(鳥屋・沖編)

●武石地域防災訓練

9月1日(土)

7:00~ 情報伝達・避難訓練 各地区公民館へ

8:30~ 武石小学校体育館で全体訓練

天ぷら鍋火災消火、AED取り扱い、

炊き出し訓練他

●ともしび萩見の茶会

9月1日(土) 10:00~15:00

ともしび博物館



●武石地域敬老会

9月8日(土) 11:00~

武石公民館ホール 式と演芸

●武石ゴルフコンペ

9月9日(日)

丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部

●第30回国保依田窪病院祭

9月15日(土) 9:00~15:00

鎌田實諏訪中央病院名誉院長記念講演会 (ほか)
問い合わせ▶病院祭実行委員会事務局

☎0268-68-0036

●依田窪南部中学校「紫苑祭」

9月21(金)・22日(土)

●武石小学校校庭運動会 9月29日(土)

●通学合宿 10月3日(水)~6日(土) 武石公民館

●茶灯会 10月6日(土) ともしび博物館

●武石保育園運動会

10月6日(土) 武石保育園



●ともしびの里駅伝大会

10月28日(日) 10:30スタート7区間

■参加申し込み締め切りと参加料

1次▶締切 9月14日 7,000円

2次▶締切 9月28日 8,000円

